

地に学ぶ

総務常任委員会は、
令和元年7月23日～25日、
滋賀県、奈良県、大阪府の
2市2町村を行政視察しました

琵琶湖一周 「ビワイチ」

滋賀県守山市

サイクリストの聖地「しまなみ」の成功事例を徹底的に研究し、守山市へ生かそうと、「ビワイチ起点のまち守山市」のまちづくりを開始した。

守山市は滋賀県の交通の大動脈である琵琶湖大橋のたもとに位置しており、京阪神・名古屋からのアクセスも良好であり、高低差もほとんどなく、立地特性も有効に生かされていた。

計画と実施は専門性の高い職員で実施されており、民間との共同戦略も工夫が施されていた。



ビワイチの風景

全国最年少市長が 先導する働き方改革

大阪府四條畷市

四條畷市での働き方改革では、対話を通じて職員一人ひとりの働きが住民のためになるという考えのもと改革を進めている。

自らの考えで働くことが改革につながるのと視点は参考となった。

働き方改革とは残業時間を減らせれば良いというものではなく、職員の意識改革が最も大切であると感じた。

テレワークを活用した 母親雇用創出事業

奈良県上牧町

「結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。」という問いに対し住民の答えは、

1位 安定した雇用機会の提供

2位 夫婦がともに働き続けられるような職場

3位 環境の充実
女性が働きやすい環境づくり

施策案として「子どものそばで働きたい」、「シフト調整など時間の融通がきく」、「職場や同僚の理解」の3点を掲げる。

「ママスクエア」では母子がすぐ近くにいることで保育所とは異なる安心感や魅力があったと感じられた。



母親のとなりで保育中のママスクエア

クラウドファンディング を活用した古民家

奈良県明日香村

古民家リノベーションによる集客拡大では事務局、担当者の熱意と商工会が観光の一端を担うことで経済波及効果につながることを実感した。また、地域資源を生かし、民泊ブームを捉えた官民一体の取り組みは模範とするべきものがあつた。

大山町の事業を鑑み、補助金などを当て込んだ事業については慎重な吟味が必要だと思った。



リノベーションされた古民家